

チュートリアル課題 夕方になると

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-10-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032575

2015年度 Segment. 6

課 題 No.2

課題名：夕方になると

課題作成者：整形外科学

岩倉菜穂子



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

佐々木美恵さんは手術室勤務の看護師です。再来年には仕事を始めて15年目であり、主任として忙しく過ごしています。仕事もできるしスラッとした美人と評判ですが、自分ではちょっと猫背なのがたまにキズと考えています。

1年ほど前から夕方になると右手の小指側がしびれることがありましたが、仕事には支障がなかったので様子を見ていました。最近になって頭痛や倦怠感もでてきたので、心配になって脳神経外科を受診し、頭部MRIを調べてもらいましたが、特に何ともないといわれ安心しました。

シート2

2週間後、しびれの範囲が小指から腕にまで広がり、数日前からは小指に痛みも感じるようになったため、今度は整形外科を受診し、診察と検査を受けました。

シート3

先生からは『頸のレントゲンは特に問題ありませんね。筋力の低下もないし、しびれと痛みに対しては飲み薬で様子を見てみましょう。2週間後にまた来てください。』といわれました。

シート4

痛み止めの薬を飲むと、痛みが少し楽になりましたがスッキリしないまま2週間後に整形外科を再診しました。

先生から『筋力が少し落ちてきているみたいなのでもう少し詳しい検査をしておきましょう。』と言われました。

シート5

美恵さんは検査の結果の説明がある次回の受診まで、痛み止めを内服しながら仕事を続けていました。重いものを持つと痛みが強くなるようになってきましたが、肘掛け椅子に座るとしびれが出にくいことに気づきました。

シート6

診察の後に先生から『頸椎のMRIも神経の伝導検査も特に問題ないようです。腕神経叢が圧迫されたり牽引されて症状をだす胸郭出口症候群の可能性が高いと思います。少しリハビリをしてみましょう。』と言われてリハビリに通うことになりました。

シート7

リハビリを受けながら腕神経叢ブロックなどもしてもらったところ、一時的にとっても楽になりました。しかし、しばらくすると手を下ろしているだけでも痛みが出るようになりました。症状が一進一退のまま半年リハビリをした後に、先生から手術治療もあると説明されました。仕事に支障が出始めていたため手術を受けることに決めました。

シート8

手術を受けて、症状がすっかりとれた美恵さんは職場に復帰することができました。